

学校だより

明るく 元気に たくましく

令和2年12月18日発行

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行

TEL 082-250-7101

FAX 082-250-7102

E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



工事が進む新仮校舎
←

□ はじめに

早いもので今年も残すところあとわずかとなりました。振り返ってみて、どんな年でしたでしょうか。年明け早々より新型コロナウイルスの脅威が報道され、2月以降は国内も海外も感染症の影響でパニックにもなりました。3月には初の緊急事態宣言が出され、学校も臨時休校となり、卒業証書授与式や入学式などにも大きな変更を余儀なくされました。新しい日常生活様式が取り入れられ、今までとは異なった学校の在り方が求められました。まだまだ感染症対策を緩めることはできません。そして大切な子どもたちの住みよい未来を、私たち大人は守っていく義務があります。

師走に入り、現在も新型コロナウイルス感染症第3波拡大の心配が大きい中、インフルエンザ、ノロウイルスに代表される感染性胃腸炎等との同時流行も懸念されます。学校も一層保健指導の徹底に努めてまいります。御家庭でもお子様の健康管理に十分御留意いただきますようお願いいたします。皆様がお元気で、家族そろって今年一年を有意義に締めくくることができそうですよう心からお祈り申し上げます。

□ 中学部修学旅行

11月12日(水)～13日(金)に、中学部第3学年は修学旅行に行きました。新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて地域ごとの感染リスクや様々な施設の感染対策状況等を十分に検討した結果、行先を神戸方面から岩国方面へ変更して実施しました。迎えた当日は、本当に暖かく、雲一つない青空が広がり、この日を迎えられたことを祝福してくれているようでした。第一の訪問先マリナホップで、生徒達は自ら事前に選択しておいた乗り物を楽しみ、その後は園内の中華料理店で本格的な中華料理に舌鼓を打ちました。配膳に時間差がありましたが、自分の料理が出てくるまで、全員がマナー良く、待つことができていました。そして、岩国到着後、まず全員で錦川河岸で、YOUNG MANの音楽に合わせて、ボディパーカッションを披露しました。突然のパフォーマンスに最初は驚いていた観光客の皆さんも、感動し大きな拍手喝采を送ってくださいました。ホテルでの豪華な夕食の後は、全員が気持ちのよい大風呂で汗を流し、訪問学級の皆さんとも交流しました。気持ちよく朝を迎えた翌日も快晴でした。ホテルの方々へ丁寧に挨拶した後、岩国空港へ向かいました。空港では航空機こそ観ることができませんでしたが、共同使用しているアメリカ海兵隊の戦闘機が飛び立つ姿を確認することができました。帰路、宮島コーラルホテルで昼食をとり、最後の訪問先であるミスズガーデンでボウリングを楽しみました。全員が大歓声をあげながら、本当に楽しいひと時を過ごしました。到着前のバス内では、多くの生徒が「帰りたくないよ。本当に楽しかった。」と口にするくらいの思い出とともに、全員が元気に戻るすることができました。感染症に罹患する生徒も教職員も出ることなく、安全に楽しい修学旅行を実施できたのも保護者の皆様を始め、多くの関係者の皆様のお陰です。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



Y!M!C!A!



ジェットコースター出発!



宿泊先のホテル前でパチリ!

□ 小学部修学旅行

小学部第6学年が、11月17日(火)、18日(水)、修学旅行に行きました。本来なら新幹線を利用して岡山方面に行く予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、広島市内に場所を変え、全行程バスで移動する内容に変更して実施しました。17日の午前中は、ミスズガーデンで、ボウリングを楽しみました。ピンが倒れると「ヤッター!」と喜び、倒れなくても「残念!」と励まし、皆で盛り上がりました。宿泊する神田山荘に到着後は、いよいよソーラン節の発表です。この発表に向け各グループで練習を重ねてきました。一人一人手作りののっぴを着て踊る姿はとても素晴らしく、友達や先生方、同行して下さった医師や看護師の皆さんに大きな拍手をもらいました。18日は、マリナホップで乗り物や水族館見学、生き物ふれあい体験等を楽しみました。観覧車からは瀬戸内海や広島市の街が遠くまで見え、良い景色を眺めることができました。生き物体験では、トカゲなどの爬虫類や魚、小鳥やウサギなどとたくさん触れ合うことができました。ザリガニ釣りをしたり、生き物にそっと触ったり、餌をあげたりしてそれぞれに楽しみました。お土産を買うことも大きな楽しみの一つです。品物がたくさんあって迷いましたが、買いたい品を選び、列に並んで上手に購入することができました。当初の行程から大きな変更をし、児童は、事前学習から意欲をもって取り組み、小学部最高学年としての成長を感じました。それぞれの役割もきちりと果たし、友達と協力したり励ましあったりして、全行程を終えることができ、学校に帰ってきたときの児童の顔には、やりきった満足感に溢れていました。



狙うぞ、ストライク!



家族のお土産をいろいろ選んで買いました。

□ 広島デルタライオンズクラブ様贈呈式

11月19日（木）に、医療的ケア室用テレビモニター2台とテレビ台2台を寄贈いただきました、広島デルタライオンズクラブ様をお迎えして、贈呈式を行いました。今年度は同ライオンズクラブの60周年にあたるということで、60周年大会会長 西川 吉三様、同大会委員長 花岡 隆之様、同幹事 今田 邦彦様、同事業部会長 高橋 淳様、記念事業副部長 猶崎 修平様に御出席いただきました。贈呈式の後、本校の紹介とともに同時に医療的ケア室の様子ビデオを鑑賞していただき、お土産に作業学習で作ったパンを贈呈しました。また、貴重な物品を御寄贈いただいた上に、御多用な中、贈呈式に出席くださった、広島デルタライオンズクラブの皆様に心より感謝申し上げます。



西川会長へから目録を贈呈いただきました。

□ 三栄産業株式会社 SDGs 私募債受託に伴う贈呈式

広島信用金庫様の SDGs 私募債による三栄産業様からは、マイカー3台を寄贈いただき、11月30日（月）に贈呈式を行いました。SDGs 私募債とは、持続可能な社会の実現に向けての取組の一つで、金融機関が私募債を発行される企業様から受け取る手数料の一部を活用し、企業様が選定した SDGs に資する団体に対して寄付・寄贈を行うものです。贈呈式には、三栄産業株式会社 代表取締役 米山 真和様、同代表取締役 小宇羅 元俊様、同就労支援事業担当・関連会社オンザライズ代表取締役 甲村 健治様、広島信用金庫 本店営業部長 坊田 和彦様、同本店営業部渉外課 課長代理 菅波 圭介様、同経営企画部 広報室長 藤山 将様、同お客様サポート部 企業成長サポート室 副課長 原野 和幸様に御出席いただきました。贈呈式では校長より謝辞を述べ、感謝状を贈りました。また生徒を代表して高等部3年1組 山坂 勇人君がお礼の言葉を述べました。作業学習で作ったクッキーを贈呈しました。お忙しい中、贈呈式に出席くださり、御寄贈いただいた三栄産業株式会社および広島信用金庫の皆様に心より感謝申し上げます。



米山様へ感謝状を贈呈しました。



生徒会長によるお礼の言葉

□ 令和2年度 広島市立広島特別支援学校 校内授業研究会

11月26日（木）、令和2年度の授業研究会を行いました。例年は公開研究授業としておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、校内授業研究会に変更させていただきました。今年度から小学部で新学習指導要領が実施されることを踏まえ、学校教育目標とビジョンを見直し、新たにミッションも策定しました。この達成に向けて、昨年度から3年間の計画を立てました。この3年間で目指す児童生徒の姿は、児童生徒が「ことば」のイメージを広げ、深め、音声言語のみでなく子どもたちが発するあらゆる表情、動き、身振り、発声、喃語などを「ことば」として受け止め、「ことば」を活用しながら発信したり伝え合ったりする姿です。研究主題は、「主体的・対話的で深い学びを目指し、思考を支える「ことば」の力を育むための授業づくり」です。二年度目にあたる今年度は『「ことば」を使って伝え合おう』をテーマとして開催しました。

本年度は本校の学校協力者会議副委員長で、比治山大学副学長でもある林 武広様によるリモートでの大学生への配信も行われ、大きな時代の変化も感じることとなりました。本校における取組が、御参加いただいた皆様の一助になれば幸いです。本年度の研究推進並びに研究会の開催にあたり、懇切・丁寧な御指導と御助言を賜りました、島根大学学術研究院教育学系准教授 樋口 和彦 先生には、心より感謝申し上げます。また、本研究会の授業公開・研究発表に当たり、御多用な中、御指導・御助言を賜りました、広島市教育委員会特別支援教育課主任指導主事 西田 由香 先生、同指導主事 中岡 美穂 先生、酒井 敏郎 先生、広島市教育センター指導主事 益田 峻佑 先生、広島市立五日市東小学校長 西山 美香 先生に厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。



小学部 自立活動「一緒に遊ぼう」



中学部 「いろいろな言葉を知ろう」～五つのドアゲームをしよう。



高等部 国語科「意見を聞いて伝えよう」



教職員 研究協議の様子

□ 令和2年度第4回広島県特別支援学校スポーツ交流会

11月29日（日）に、広島県内の特別支援学校6校42名の高等部の生徒が参加し、県立総合体育館大アリーナで、令和2年度第4回広島県特別支援学校スポーツ交流会（ボッチャ）を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響で開催も危ぶまれましたが、各校および保護者の皆様の協力を得て、対策を十分に行った上で、入念に準備運動とボッチャのルール等の講習を済ませるといよいよ交流試合です。交流試合では、様々な熱いプレーが繰り広げられ、爽やかな汗を流し、笑顔でお互いの健闘をたたえ合い、交流を深めました。閉会式では、本校3年A組大西涼太君がデザインしたクリアファイルと参加証を全員に贈呈しました。4年前に特別支援学校のスポーツ活動の振興と交流を目指し、本校が中心となって立ち上げた4回目の大会でした。今年度は延期になりましたが、来年度開催予定のパラオリンピックの正式種目であるボッチャの普及に向けても大きな一歩であったと思います。広島県地域政策局スポーツ推進課や障害者スポーツ協会等関係機関の御協力をいただき、充実した会になりました。今後とも御支援・御協力をよろしくお願い申し上げます。



楽しみながらの好プレー！



本校生徒デザインのクリアファイル、参加証とプログラム